

農地利用最適化の最前線

頑張る農業委員・農地利用最適化推進委員

猪名川町農業委員会 農地利用最適化推進委員

並川 清さん(71)

「農地の相談は、気軽に農業委員会に来てほしい」と話すのは、猪名川町農業委員会の農地利用最適化推進委員・並川清さん(71)。

同町では、推進委員4人が先頭に立ち、14人の農業委員とともに、農地利用の最適化に向けて遊休農地の解消に取り組んでいる。

同町農業委員会は、2016年に新体制に移行。当時把握していた遊休農地は約8畝で、これまでに2・1畝、31筆を解消し、認定農業者など8経営体にあっせんした。

並川さんは「町内の圃場は整備が進んでおらず、狭くていびつな農地が多い。高齢化も進んでおり、遊休農地や耕作者不在の農地が増えている」と話す。

推進委員は毎月、推進委員会を開き、担当地区の遊休農地について報告するほか、対応策について協議している。農業委員とも連携し、遊休農地の情報共有や近隣農業者に



「町内で新規就農する人もいるので、農地のサポートをしていきたい」と話す並川さん

推進委員が団結遊休農地解消へ

対して、耕作してもらえない体の農地を守ること。地域の農業者が農地のことを安心して農業委員会に相談できるように、信頼関係を築いていき「推進委員の活動は、町全たい」と並川さんは話した。